

寺 報

龍正寺

日なた 99号

南無

妙法蓮華經は

私たちの幸せに

なる道なり

日 延



<平成28年 8月>

宝 龍 会
護 持 会



暑中お見舞い

申し上げます

七月十日(日)龍正寺では音蘭盆
施餓鬼大法要を行いました。行道
を行い、幡・水・香のお供えをし
ました。

厳しい暑さが続きます。くれぐれ
も御自愛下さいませ。

平成二十八年 盛夏

＝ 確 職、一 言 ＝

毎日暑々、日が続いています、水分を多めに取り熱中症、並かにお身体には十分お気お付けて下さい。

私たちが唱えるお題目は、「妙法蓮華経」五字、お釈迦様が色々なお教えをされた、最後総まとめとしてお説きになった、一部八巻二十八品、六萬九千三百八十四文字のお経です。

「南無妙法蓮華経」七字、日蓮大聖人が、お釈迦様の教えを勉強され、建長5年4月28日千葉県清澄山で初めて、声を出して日輪に向かって唱えられたお題目であり、今日まで唱え続けられています。

私たちが、今唱えるお題目とは、

南無とは 歸命、仏様の教えに歸依し身命を捧げ、
仏様の教えに従います。

妙とは いうにいわれぬほどすぐれている、不思議なこと
奇妙

法とは 自性を保持して改變せず、模範となる

行動

蓮とは この世の若惱、若淡

華(花)とは 若惱、若淡の中でも、何ものにも染まらず
美しい花

經とは 仏様が、お説になられた事、お經

お釈迦様も、日蓮大聖人も、私達の幸せを願が
られたのです。

良い原因には良い結果が生まれます。

悪い結果の時は、お題目を唱え 色々と考えて
見て下さい、必ず答えが出ると思えます。

幸せを願うならば、お題目の風にふれてみて
下さい。

南無妙法蓮華經

合掌

我が子の幸せ …先祖への繋がり…

休日・掃除中にテレビから聞こえてくる言葉に手を止めました。それは結婚をしない子供達への親の対応でした。結婚をしていない親子のアンケート調査で、子供に結婚話を切り出せない親が50%ほどいるとの事でした。

その理由が、今の世情では結婚をしても幸せになれるかわからないから…。結婚話を切り出す事で、親子関係がまずくなると困るから…。と言うものでした。

私としては驚きでした。

「親」という字は「木」に「立」って「見」と書きます。

もちろん子供といえども大人です。自分の人生は自分で考えているだろうと思いますか…。

しかし、愛しい我が子だからこそ、親は今の世情で我が子が幸せな人生を送る為に、何を考えて行けば良いのでしょうか。子供の目先の幸せだけを考えていては本当の幸せにはなれない様に思います。

親はいつか先に旅立ちます。

その時に支え合える家族がいれば、悲しみをいやしあえると思います。

仕事で色々な親子の方と係る事があります。

独身で親の世話さされている方も多く思います。

親が他界し、自分のこれから的人生を考えられる時に、家族がない事を寂しく思われる方が多いです。

決して親はそのような我が子の姿を望んではいけないはずです。たかひこそ親が今の事だけを考えて口を閉ざしては開く我が子の未来の扉も開きません。

私は我が子が結婚して、夫婦・親子の関係の中で苦悩しながら小さな幸せを重ねて行く中で、人として成長してゆく姿に人間力の向上を感じています。

結婚をしなくても幸せになれますが、...。人生を一人で生きてゆく心構えを伝えていかななくてはいけないと思います。

親が先祖に手を合わせ、子供が受け継ぐ代々というものが理解できる環境で、子供が育つと幸せの道は繋がります。

親として子供の顔をうかがうのではなく、毅然としてこれからの子供の行く末を考えて行動できる親でありたいと思います。

八月はお盆月ですね。親子で先祖供養してはどうでしょうか。御先祖も子孫の幸せを願って下さっています。家族でお墓参りをしましょう。

心を育てる♡

いよいよ夏休み 部活に課題に昆虫採集、
プールにと、子ども達が頑張る中、それを見守る私達
も体力を消耗しながら頑張っています。

先日も、三年生の息子のサッカーの試合がありました。
三十六度を超す炎天下、四試合を戦いました。初め
での大きな試合でした。コーチからは他のチームの子や、
保護者、関係者の方々に、しっかり挨拶するようにと
言われたものの、チームメイトと一緒になら元気良く出来る
のに、一人になると声も小さく相手の顔も見れない状
態で... 試合後に冷たいタオルを渡されても
お礼の声が小さく、返すときも無言。暑くてきついのは
わかりますが、挨拶は人としての基本。帰ってから
しっかりと伝えました。

でも、試合中は、ベンチからチームメイトに声をかけたり、
休憩で仲間が戻ってくると冷たいタオルを渡す姿が
見られました。自分の荷物は何論、椅子やバケツなど
を持って行く姿を見ていると、親から離れた場所でも
色々な人と出会い、その方々に教えられて成長しているんだ
なあと有難く、嬉しく思いました。

お盆が過ぎると秋のお彼岸ですね。この一週間に
善行を積み重ねれば彼岸に渡ることができるとされている
修行「六波羅蜜」(ろくはらみつ)

- | | |
|------|------|
| ① 布施 | ④ 精進 |
| ② 持戒 | ⑤ 禅定 |
| ③ 忍辱 | ⑥ 智慧 |

この中の布施行にも、色々な種類があるそうです。お参りの際に現金を包むのもお布施と言いますが、お金ではない。「無財の七施」と言われるものがあります。ボランティアも身施(しんせ)。自分の体を捧げる。仲間と共に泣き、共に喜ぶ。心施(しんせ)。いつもニコニコ、周囲を和やかにさせる和顔施(わげんせ)。優しい言葉をかけ、相手の心を温める愛語施(あいごせ)など、日常生活の中で何気なくやっている行為かもしれませんね。ただ、〇〇してあげたと思っているのでは布施行ではありません。施した側にも感謝の心があってこそ、布施行になるのです。少し難しい内容になってしまいましたが、子ども達にもそのような心が芽生えてくれたら良いですね。

夏休みは沢山の経験が出来る四十日間です。子ども達の成長を見守りながら時にはこんな事も心に止めながら頑張っていきたいです。

< 8月の行事予定 >

8/13(土) 午前10時より 宗祖日蓮大聖人報恩会

鬼子母尊神七面大明神祈禱会

大古久尊天会

8/27(土) 午前10時より 松葉谷法難会

< 8月 住職 予定 >

8月16日(火)

}

身延 波木井山 円実寺へ

8月19日(金)

出張します。

< 8月の予定 >

8/6_(土) ~ 8/12_(金) 各々の時間で 清掃・準備

8/13(土) 法要終了後 片づけ

8/20_(土) ~ 8/26_(金) 各々の時間で 清掃・準備

8/27(土) 法要終了後 片づけ